

# 奈義町教育委員会通信

Nagi Town Board of Education News

奈義町におけるさまざまな教育の取り組みを紹介します

No.42 令和6年2月15日号

発行:奈義町教育委員会 学事課

一夢に向かって自ら学び

ともに高めあう「なぎっ子」

3学期もあっという間に半分が過ぎました。暦の上では既に春を迎え、日中は少しずつ暖かくなっていますが、インフルエンザ等に負けないようしっかり体を動かし、免疫を付けましょう!

1月後半には30cmほどの積雪があり、昨年同様心配の声もありましたが、地域の皆様のご協力のおかげで、児童生徒が安全に登校することができました。ありがとうございました。またその雪の中、小中学校の児童会、生徒会より能登半島地震の義援金が届けられました。小学校の運営委員会が中心となり、被災者の方々の役に立ちたいとの思いから募金活動が始まりました。年末に行ったガザ地区の子どもたちへの募金も届けられ、思いの詰まった温かい支援に勇気づけられることと思います。

## 文化センターが優良公民館表彰を受賞しました!



奈義町文化センター(奈義町公民館)が第76回優良公民館表彰を受賞しました。これは、公民館など社会教育活動を行う施設のうち、特に優秀な成果を上げ、他の模範と認められる公民館に対して文部科学大臣から表彰されるものです。

2月9日(金)に文部科学省で表彰式が行われ、全国から69館、岡山県からは奈義町と瀬戸内市が表彰されました。これも、町内全地区で取り組んでいる、公民館を中心とした皆さんの活発な生涯学習活動が認められた成果です。

## 小学校トイレが完成しました!

8月から工事を行っていた、小学校1・3・5年生のトイレ改修が1月末に完成しました。2・4・6年生同様、様式化及び乾式化を行い、衛生的で清掃もしやすくなりました。また、1,3年生は暖色に、5年生は明るい緑色と、学年ごとに入口の壁の配色を変え、子どもたちが気軽に、親しみを持って使える空間に生まれ変わりました。多機能トイレも併設され、バリアフリーで誰でも使える仕様となっています。



▲5年生トイレ(右)  
◀多機能トイレ(左)

## 幼稚園児 小学校体験入学しました!

2月8日(木)、両幼稚園の年長児が小学校体験入学をしました。園児らは各園から徒歩で小学校を訪れ、学校内を見学した後、1年生から生活発表や合奏を披露してもらいました。小学校の先生の授業を受けたり、給食を食べる体験もでき、その張り切っている姿から入学が待ち遠しいという気持ちが伝わってきました。

今年度の年長児は、こども園に移行する前の最後の幼稚園卒園生です。残り1か月半の園生活も充実させてほしいと願います。

▼おかわりする園児も見られました



▲先生の授業を真剣に聞く子どもたち

# 複数ALT導入について



来年度からこども園・小・中学校へ導入される予定のALTについて、皆さんの疑問にお答えします！

## Q. ALTとは何ですか？ なぜ12人ものALTが必要なの？

A. ALTは「Assistant Language Teacher」の略語で、日本語では「外国語指導助手」と呼ばれています。小学校や中学校、高校での英語の授業において、教師の補助が役割となっています。教師とALTがチーム・ティーチングを行うことで、よりきめ細かく、個人に合った指導をすることがねらいです。

ALTの職務内容には、次のようなものがあると考えています。

- ①指導教材の準備・作成の補助
- ②担任または担当教員が行う英語の授業の補助
- ③言語や関連情報の提供（言葉の使用法、発音など）
- ④児童生徒との会話や交流
- ⑤日本人外国語教師の養成の補助



これらの職務を行うためには1名のALTでは困難です。特に①④⑤は、各学年担当のALTを置くことが効果的と考えられます。中でも④は、各学年担当のALTが毎日子ども達と授業時間以外の生活（給食、掃除、休み時間、行事等）を共にすることにより、子ども達の会話力、コミュニケーション力を大きく伸ばすことが出来ると考えます。

また、英語、外国語活動の時間には、各授業に複数（2～3人程度）のALTが入る事により子ども達の会話の回数が増えるとともに個に応じた指導が可能になります。

こども園でも毎日のあいさつや英語によるゲームや手遊び等、生活を共にすることで日常的に英語にふれる事ができ、年齢が上がるほど難しくなると言われる、いわゆる「英語耳」の育成に効果があると考えています。さらに、幼児期から異なる文化や多様な人々を知る機会が増え、他の文化に対する理解も広がり、国際的な視野を持つことにつながることでしょう。

以上のような点から、3歳以上の学年に1人ずつのALTを配置して子ども達の英会話力、コミュニケーション力、そして、異文化理解と国際的視野の育成を行いたいと考えています。



## Q. 英語教育で他の教科の時間数が少なくなったり、教職員が多忙になったりしないの？

A. 各学年の英語の授業は、中学校が週4時間、小学校は5・6年生が週2時間、3・4年生が週1時間あります。この時間にそれぞれの教科書、副読本に沿って行います。小学校1・2年生には英語の時間はありませんが、余裕時数（裁量の時間）を活用し実施します。また、こども園では、日常の活動の中に適時取り入れていきますので、他の教科の時数が少なくなることはありません。

教職員にとっては、ALTが常時在校している事で、「授業の打ち合わせがしやすくなる。」「個々の子どもの情報を共有できる。」「授業の準備を任せられる。」等、余裕が生まれると考えています。

また、小学校の教員の中には、英語を教えることに不安があったり、難しさを感じたりしている者も多くなりますが、ALTと協力する事により専門外の英語の授業が行いやすくなることと、個々の教員の授業技術の向上にもつながると期待しています。

ALTはあくまでも指導助手であり、単独で子ども達の指導をする事はありませんが、こども園では、日常の暮らしを共にし、保育教諭の補助的な役割も担ってもらいます。

紙面で伝えきれない教育委員会の取り組みを投稿しています！👍

●問い合わせ先 奈義町教育委員会 学事課（文化センター内）

Tel : 0868-36-4195 / E-mail : [kyouiku@town.nagi.lg.jp](mailto:kyouiku@town.nagi.lg.jp)



「奈義町教育委員会」更新中！

